

令和3年度 第2回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催要項

令和3年7月14日(水) 14:00～  
四街道市役所第二庁舎 第二会議室

1 開会

2 教育長挨拶(府川 雅司 教育長)

3 会長挨拶(米村 貴 会長)

4 議題

(1) 第四次推進計画素案について

(2) その他

5 諸連絡

・第3回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会

令和3年11月22日(月) 14:00～

四街道市役所第二庁舎 第二会議室

6 閉会



四街道市子ども読書活動推進計画  
(第四次)

～ スローガン ～

令和4年3月

四街道市

四街道市教育委員会

# も く じ

はじめに

## 第1章 第三次計画における成果と課題

1 目標数値について . . . .

2 成果

3 課題 . . . .

## 第2章 第四次計画の策定

1 趣旨 . . . .

2 基本方針 . . . .

3 計画の期間 . . . .

4 計画の対象 . . . .

5 財政上の措置 . . . .

## 第3章 計画推進のための方策

1 家庭における推進方策 . . . .

2 地域における推進方策 . . . .

3 学校等における推進方策 . . . .

4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進 . . . .

5 目標とする数値 . . . .

巻末資料 . . . .

はじめに

今後 記載します

令和4年3月

四街道市教育委員会教育長 府川 雅司

## 第1章 第三次計画における成果と課題

本市では、平成19年度末に第一次、平成23年度末に第二次、平成28年度末に第三次子ども読書活動推進計画を策定し、図書館や行政関係課や学校、幼稚園、保育園（所）等で諸施策を進めてまいりました。

第四次計画策定にあたり、令和3年3月に、子どもたちと保護者を対象に読書に関するアンケート調査（※1）を実施しました。このアンケート調査によると、小学校5年生で84%、中学校2年生で75%の子どもたちが「本を読むことが好き」と答えています。第三次計画策定の際、平成28年3月に実施したアンケート調査（※2）と比較すると、小学校5年生も中学校2年生も「本を読むことが好き」と答えた割合は増加しています。市立図書館や関係各課による、行事、読み聞かせ、講座等、様々な機会に保護者に対して啓発を行うことができたことは、大きな要因と考えられます。また、学校においては、学校司書やボランティアとの連携を行い、学校図書館を活用した授業展開の推進を含め、図書に親しむができたことも挙げられます。「どこで本を読むことが多いか」の問いに、5年前の調査と比較すると、小中学生は「自分の家」から「教室」に変わってきています。家庭での読書の習慣、学校での読書活動の取り組みが引き続き重要となります。高校生のアンケートから、小さいときに家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらった生徒の割合が5年前よりも多くなっていることから、小さいころからの読み聞かせが定着してきたことが伺えます。これらのことから、以前に比べて本に親しむ児童生徒が増加していると思われます。さらに、令和元年度全国学力・学習状況調査（※3）における「学校の授業以外に普段1日当たりどれくらいの時間読書をするか」という設問では、「毎日10分以上読書をする」と回答した児童生徒は小学生が68.9%、中学生で55.5%と全国平均（小学校65.7%、中学生50.4%）を上回っていることから、第三次計画での児童生徒への働きかけにより、読書習慣は他の地域に比べ、身に付いているといえます。しかしながら、読書にかける時間が10分から30分がどの年代でも一番多いという結果から、これは短時間でも読書の習慣がついたということであるが、反面、長編をじっくり読むという力はなかなか身につかないということになります。長編を少しずつ読み進める面白さに気づいてもらうこと、短編ながらも味わい深い良質の物語を紹介するなど、いつも身近にいる大人（親や先生など）の働きかけが大切になってくると思われます。読書が好きになった理由としては、「幼少期の本の読み聞かせ」を挙げた子が多く、読み聞かせが読書への興味・関心を高める上で大きな役割を果たしていることがわかりました。一方、読書が好きではない理由としては、「読みたい本が見つからない」と挙げた子が多くいました。家庭や学校等で子どもたちにどのように本に関する情報提供を行うかも課題の一つであると考えられます。さらに、第一次計画から引き続き課題となっているのは、学年が上がるにつれて読書をしなくなる傾向が見られることです。

第三次計画の推進にあたっては、図書館や行政関係課で協力し合い、取組を進めてきました。また、「子ども読書活動推進連絡会」の開催により、幼稚園・保育園（所）や学校、関係機関、ボランティア団体等の横のつながりも年々深まり、連携、協力体制の整備が少しずつ進んできました。

第四次計画では、第三次計画の成果と課題を踏まえ、事業をしぼり、焦点化することで、より一層の読書活動の推進を図っていきます。

※1 令和 3年3月実施 全小学校2年生、5年生、全中学校2年生、市内高等学校2年生対象

※2 平成28年3月実施 全小学校5年生、全中学校2年生、市内高等学校2年生対象

※3 令和 元年4月実施 全小学校6年生、全中学3年生対象

1 目標とする数値について ※ ( ) は第三次計画の令和3年度目標数値

(1) 図書館・公民館における児童書貸出冊数

平成27年度 86,661冊 ⇒ 令和2年度末 61,884冊  
(90,000冊)

(2) 学校図書館における児童生徒一人あたりの貸出冊数

|     | 平成27年度 | 令和2年度末     |
|-----|--------|------------|
| 小学生 | 37.5冊  | 39.6冊(40冊) |
| 中学生 | 7.8冊   | 7.1冊(10冊)  |

(3) 1か月に読む本の冊数に関する子どもの割合

|                                      | 平成27年度 | 令和2年度末 |
|--------------------------------------|--------|--------|
| 小学校2年生<br>1か月に読む本の冊数が5冊<br>以上の子どもの割合 | 64.5%  | 79.8%  |
| 小学校5年生<br>1か月に読む本の冊数が5冊<br>以上の子どもの割合 | 36.7%  | 52.9%  |
| 中学校2年生<br>1か月に読む本の冊数が3冊<br>以上の子どもの割合 | 40.8%  | 46.0%  |

(4) 1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合

|        | 平成27年度 | 令和2年度末 |
|--------|--------|--------|
| 小学校2年生 | 2.1%   | 1.1%   |
| 小学校5年生 | 4.7%   | 3.0%   |
| 中学校2年生 | 5.9%   | 6.9%   |

## 2 成果

①読書が好きな子どもが多い。(小学生の約9割、中学生・高校生の約7割は読書が好き)

※指導課

②図書館、公民館や学校図書館における児童書の貸出冊数が増えている。

※図書館・指導課

③「読書タイム」により、子どもたちの本を読む回数が増えている。

※指導課

④すべての小中学校に派遣している学校司書が教職員と連携して、各学校での読書活動の充実を図ることができた。 ※指導課

⑤学校図書館の蔵書冊数達成率の向上、また全小中学校における学校図書館システムの導入等、学校図書館の整備が進んだ。

※指導課

⑥幼稚園や保育園（所）では、図書館による団体貸出しを利用する等、絵本が充実したことにより、読み聞かせも充実した。

※保育課

⑦「はじめまして、絵本」事業からのつながりにより、図書館では絵本の会への参加者が増え、小さな子どもがいる家庭に、本の楽しさを伝えることができた。

※図書館

⑧図書館による学校図書館への支援により、学校図書館の整備や、授業による学校図書館の活用が推進された。

※図書館

⑨子どもの読書活動に係る幼稚園・保育園（所）や小中学校、高等学校、特別支援学校と関係機関、ボランティア団体等が、共に研修や情報交換を行う連絡会の開催により、連携が深まった。

※指導課

3 課題（コメントの作成を3～4行くらいでお願いします。）

①読書環境の整備 ※全課

②図書館・学校図書館の効果的な活用 ※図書館・指導課

③家庭での読書活動の推進 ※全課

④図書館、学校等の連携・協力体制（ボランティアも含む） ※全課

⑤学年が上がるにつれて読書をしなくなる傾向 ※全課



## 第2章 第四次計画の策定

### 1 趣旨

スローガン 第一次計画「すべての子どもに読書の喜びを」  
第二次計画「読書で拓く 子どもの未来」  
第三次計画「読書で拓く 子どもの未来」  
第四次計画「 」

### 2 基本方針

#### (1) 子どもの読書活動を支える読書環境の整備・充実

子どもが本を必要としたときに、その子どもにとって魅力のある本がいつも身近にあるよう、図書資料をはじめ、施設設備も含めた読書活動に係る環境の整備・充実に努めます。

また、保護者をはじめ、学校等の教職員や学校司書、ボランティア、図書館の職員、地域の大人など、子どもの読書活動に係るさまざまな立場の大人が、子どもと一緒に本を読んだり、読書の楽しさや素晴らしさ、大切さを子どもに伝えたりしながら、子どもの自主的な読書活動を支えていくことができるよう人的環境の整備・充実に努めます。

#### (2) 家庭・地域・学校等の関係機関の連携・協力の推進

学校、幼稚園・保育園（所）、図書館、こどもルーム等やボランティアグループ等の民間団体、教育委員会など、子どもの読書活動に係る関係機関が連携し、家庭や地域の方々とともに読書活動の推進に取り組みます。

#### (3) 子どもの読書活動に関する理解・関心の普及

子どもの読書活動の意義や重要性について、さまざまな場面で広く普及・啓発を図るよう努め、市民の理解と関心を深めるようにし、市全体で子どもの読書活動を推進していく気運を高めていきます。

### 3 計画の期間

令和4年度からおおむね5年間とします。

なお、この期間中において必要に応じて見直しを行います。

### 4 計画の対象

本計画でいう「子ども」とは、おおむね18歳以下の者をいいます。

### 5 財政上の措置

本計画に掲げられた事業等を推進するため、市をはじめ関係機関等は、その役割に応じた財政上の措置を講じるよう努めます。

## 第3章 計画推進のための方策

### 1 家庭における推進方策

#### (1) 家庭の役割

子どもが読書習慣を身に付けるためには、乳幼児期から本が身近なもので、楽しいものという体験が不可欠であり、そのために家庭の果たす役割は非常に大きいと思われま

す。昨今、家庭環境や生活スタイルの変化により、家族で過ごす時間の減少やスマートフォン・携帯電話等の普及によるインターネット依存症などが話題になっています。まずは保護者が読書の大切さ、楽しさを認識し、読書活動への理解を深める必要があります。

そして、乳幼児期から子どもと一緒にわらべうたを歌う、読み聞かせを行う、子どもと一緒に本を読むひとときを持つ、良い本との出会いの機会を作るなど、子どもと親が共に読書する体験が、ごく自然に家庭生活の中で行われていることが大切です。

こうした子どもにとって、最も身近な家庭における子どもの読書活動を推進することにより、読書が大好きな子どもの育成を目指します。

#### 【事業内容】

| 事業項目              | 事業番号 | 事業の内容  | 所管課                                   |
|-------------------|------|--|---------------------------------------|
| 乳幼児への働きかけ         | 1    | 絵本やわらべうた、手遊びうたの紹介等、保護者への情報提供や啓発を行う。  | 図書館<br>社会教育課<br>(公民館)<br>保育課<br>健康増進課 |
| 子育て学習講座の実施        | 2    | 子育て学習講座を通じて、家庭において子どもが保護者の愛情を感じながら読書の楽しさを体得し、読書に関する興味や関心を引き出すように子どもに働きかけられる啓発を保護者に対して行う。 | 社会教育課                                 |
| 地域・家庭教育学級への読書活動支援 | 3    | 地域・家庭教育学級を実施しようとする者に、読書活動に関する講師などの情報提供を行う。   | 社会教育課                                 |
| 家庭への啓発と情報発信       | 4    | 家庭での保護者による読み聞かせの大切さや、意義について理解と普及を図るために、親子を対象とするイベントや保護者を対象にした講習会等を実施する。                  | 社会教育課<br>(公民館)<br>指導課<br>図書館<br>保育課   |

## 2 地域における推進方策

子どもが、その成長とともに活動の場を広げていく地域社会には、それを助ける拠点となる様々な施設があります。

中でも図書館は、市民がさまざまな情報を得たり、読書を楽しんだりする生涯学習の大きな拠点です。また、公民館の図書室やこどもルームも、地域で過ごす時間の多い子どもたちにとって、本とふれあうことのできる身近な場所です。

図書館や公民館、こどもルーム等の地域に密着した施設が、地域の方々と連携しながら子どもの読書環境の整備に努めることで、子どもの読書活動の活性化が期待されます。

### (1) 図書館の役割

図書館は、様々な年齢層の人とともに、子どもが多くの本と出会える場所です。選ばれた豊かな本の中から、子どもは好きな本を自由に手に取ることができ、また、周囲の大人が子どもの発達に即した適切な本を選んで手渡すことができます。

図書館では、より多くの子どもが読書の楽しさを知り、その楽しさを共に分かち合うことのできる機会を、おはなし会等の行事・様々なテーマを取り入れた展示・各年代に向けたブックリストの作成等を通して提供していきます。

子どもに多様な読書の機会を提供するためには、児童室の環境整備と資料の充実や、子どもを取り巻く大人の認識、理解が大切です。

そのため、子どものための図書資料の収集、読書環境の工夫、レファレンス(※)や読書相談の充実を図り、多種の児童サービスに対応できるように職員の育成に努めます。

※ 利用者が調べたいことについて、必要とされる資料を検索、提供、回答することにより支援する仕事

### 【事業内容】

| 事業項目         | 事業番号 | 事業の内容   | 所管課 |
|--------------|------|---|-----|
| 移動図書館の活用促進   | 5    | より多くの子どもが移動図書館の本を利用できるよう、移動図書館車の学校訪問によるPRを行う。さらに、貸出・返却を行うステーション(※)の再編成・整備を行う。 | 図書館 |
| 児童、青少年の図書の充実 | 6    | 基本図書の買い替え補充、蔵書の精選、新刊補充を行うとともに、読み聞かせ、お話会、青少年対象のサービス、各種本の紹介のための研究資料の充実に努める。     | 図書館 |
| 職員研修の充実      | 7    | 内部研修を充実させ、千葉県公共図書館協会、各種専門機関の研修に参加する。  | 図書館 |
| フロアワーク(※)の充実 | 8    | 児童専任司書を常時、児童室に配置し、子どもへの読書相談やレファレンスの充実を図る。                                     | 図書館 |

|                            |    |  |              |
|----------------------------|----|--|--------------|
| レファレンス・読書案内の充実             | 9  | レファレンス記録を活用し、選書や読書案内等へ反映させ、展示、ブックリスト等を活用した本の紹介を行う。             | 図書館          |
| 子どもと本をつなぐ大人への支援            | 10 | 保護者、保育者、教職員、ボランティア等に対し、子どもの本の選択、読み聞かせ等の相談に応じ、資料提供や助言等の学習支援を行う。 | 図書館          |
| 読書感想文・感想画コンクールの実施          | 11 | 小中学生対象の「読書感想文・感想画コンクール」を開催する。                                  | 図書館          |
| 「はじめまして、絵本」等、子どもと本を結ぶ事業の推進 | 12 | 乳児相談時の絵本の配布や、発達段階に応じた区分による「絵本の会」「お話会」等を実施する。                   | 図書館<br>健康増進課 |
| 子どもに関わる機関、施設等への支援          | 13 | 子どもに関わる機関、施設等の選書支援と読書相談を行う。                                    | 図書館          |
| 団体貸出の充実                    | 14 | 幼稚園、保育園（所）、学校等への貸出の充実に努める。                                     | 図書館          |

※ 移動図書館が定期的に巡回する拠点

※ 書架の間をめぐって子どもたちと接する読書援助の仕事

## (2) 公民館、こどもルーム等の役割

住民にとって身近な社会教育施設である公民館の図書室は、子どもたちにとっても身近な地域の図書館です。子どもの読書活動推進に向けて、蔵書の整備と並行して、読書案内リーフレットや新刊図書コーナーの設置、夏休み読書感想文課題図書コーナーの設置など、子どもが本にふれあい、読書に親しむ機会を提供していきます。

こどもルームは、放課後や夏休み等の長期休業において、子どもたちにとっての第二の学校であり、第二の家庭でもあります。こうした子どもの居場所においても、読書環境を整備し、読み聞かせ等で積極的に子どもに働きかけ、読書活動を推進することが求められています。

### 【事業内容】

| 事業項目              | 事業番号 | 事業の内容  | 所管課            |
|-------------------|------|--|----------------|
| 公民館親子教室での啓発       | 15   | 公民館主催講座の親子教室内で、読書や読み聞かせについての啓発に努める。                                    | 社会教育課<br>(公民館) |
| 公民館図書室の資料の充実      | 16   | 各公民館図書室の蔵書の整備を計画的に行い、常設の新刊図書コーナーや、期間限定で小中学生を対象に夏休み読書感想文課題図書のコーナーを設置する。 | 社会教育課<br>(公民館) |
| こどもルームにおける読書活動の推進 | 17   | こどもルームの児童向け図書の充実に努めるとともに、読み聞かせ等、子どもが本とふれあう機会を確保する。                     | 保育課<br>指導課     |

### 3 学校等における推進方策

#### (1) 幼稚園・保育園（所）の役割

幼稚園・保育園（所）においては、子どもに語りかけること、また絵本を読んだり見せたりすることを通して、乳幼児期から言葉や心を育て、生涯にわたる読書習慣の基礎を培うことが大切です。

また、家庭に対しては、幼稚園・保育園（所）が行っている子育て支援の一つとして、読み聞かせ等の大切さや意義を理解してもらうための取組が必要となってきます。

幼稚園・保育園（所）以外でも乳幼児をとりまく地域の中で、施設や地域の方々、保護者との連携・協力を得ながら、絵本等にふれる機会が持てるよう工夫していくことも大切です。

#### 【事業内容】

| 事業項目           | 事業番号 | 事業の内容  | 所管課               |
|----------------|------|--|-------------------|
| 乳幼児向け図書の充実     | 18   | 季節・年齢に合った絵本などの乳幼児向け図書の充実に努める。                                  | 保育課               |
| 読書環境の整備        | 19   | 絵本や物語を中心として、子どもたちが本に興味を持つことができるよう、空間づくりを工夫するとともに、本に親しむ時間を確保する。 | 保育課<br>指導課        |
| お話会の実施         | 20   | ボランティアや図書館等と連携し、親子で楽しむお話会を実施する。                                | 保育課<br>指導課<br>図書館 |
| 職員研修の実施        | 21   | 職員研修を実施し、読み聞かせの大切さや、意義、効果的な読み聞かせの方法等についての理解を深める。               | 保育課<br>指導課        |
| 家庭の啓発・家庭への情報発信 | 22   | 乳幼児向けの絵本紹介をするなど、家庭での読み聞かせの大切さや意義についての理解とその普及に努める。              | 保育課<br>指導課        |

#### (2) 小中学校の役割

学校は、児童生徒の読書習慣を形成していく上で大きな役割を担っています。乳幼児期から小学校に入学するまでの間、生活環境の違い等により、子どもが経験してきた読書体験には大きな個人差が見られます。さまざまな情報メディアのあふれる生活環境の中で、スマートフォンを使つてのコミュニケーションやテレビ、コンピューターゲームに多くの時間を費やす子どもも少なくありません。そのような中で、学校の教育活動の中では、すべての子どもに、本と出会う機会や読書時間を保障することができます。

各学校は、司書教諭が中心となって各事業を推進することができるよう、校長のリーダーシップのもと、各学校の実情に応じて司書教諭の校務分掌上の配慮を行うなど工夫し、教職員の協力体制づくりに努めます。また、司書教諭及び図書主任は、読書活動の推進計画、学校図書館の運営計画等を立案するとともに、学校司書やボランティアとの連携の要となるよう努めます。

第三次計画に引き続き、読書タイムを実施したり、ボランティア等と連携したお話会を実施したりすることにより、本との出会いの場を意図的に設定していきます。また、学校図書館資料の充実を図るとともに、子どもが意欲的に読書に取り組むことができるよう、各学校での子どもの発達段階に応じた働きかけを工夫していきます。

学校司書による支援も大きな鍵となります。司書教諭や図書主任が中心となり、学校司書と教職員が連携して、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等で学校図書館を活用した授業を、年間指導計画の中に位置づけ、展開するようにします。また、すべての教職員の共通理解のもと、学校図書館を中心とした読書活動を推進できるよう、教職員の意識と指導力の向上を図る研修も行います。さらに、学校図書館システムを有効活用し、学校間で連携を深め、児童生徒へ充実した資料提供や蔵書管理を行っていきます。保護者・ボランティアとも連携・協力を深めながら、学校全体で読書の好きな子どもの育成に努めます。

### 【事業内容】

| 事業項目               | 事業番号 | 事業の内容   | 所管課        |
|--------------------|------|---|------------|
| 読書タイムの実施           | 23   | 全校で読書に取り組む時間を学校の実態に合わせて位置づけ、教職員も読書をする。  | 指導課        |
| ボランティア等と連携したお話会の実施 | 24   | ボランティアの支援による読み聞かせなどを実施し、学年・学級単位でのお話会を推進する。  | 指導課        |
| 特別支援学級での読み聞かせの実施   | 25   | 学級担任・教科担任・学校司書が学習の中で読み聞かせを行ったり、ボランティアによる読み聞かせを行う。   | 指導課        |
| 調べ学習の充実            | 26   | 各教科、総合的な学習の時間等の学校図書館を利用した調べ学習を、年間指導計画の中に位置付けて推進する。  | 指導課        |
| 学校図書館資料の充実         | 27   | 本の入れ替えをしながら、学校図書館図書標準の100%達成を目指し、図書資料を、国語の教科書で紹介されているもの、調べ学習で活用できるもの、心を育てるもの、子どもの興味・関心の高いものなど、バランスよく整備する。 | 指導課        |
| 読書活動推進に係る教職員研修の充実  | 28   | 教職員が市内小中学校の現状と課題を踏まえて研修を深め、自校における読書活動の推進を図ることができるよう市主催研修を開催する。  | 指導課        |
| 読書行事の開催            | 29   | 「読書の日」など、学校の実態に応じて読書に親しむきっかけとなる行事を委員会活動等で企画する。  | 指導課        |
| 児童生徒によるお話会の実施      | 30   | 小学校において高学年が低学年に読み聞かせを行う、中学生が小学生に本の紹介を行う、小学生が  | 指導課<br>保育課 |

|                      |     |   |     |
|----------------------|-----|---|-----|
|                      |     | 幼稚園（保育園）児に紙芝居を行う等、交流お話を実施する。  |     |
| 家庭の啓発・家庭への情報発信       | 3 1 | 学校だより、図書だよりなどの中で、児童生徒向けの情報、家庭向けの情報を発信する。  | 指導課 |
| 学校司書の配置              | 3 2 | 児童生徒への読み聞かせや、図書の紹介、調べ学習等の授業の支援、学校図書館の環境整備を行う学校司書を全小中学校に配置する。                                  | 指導課 |
|                      | 3 3 | 学校司書の派遣日数や派遣時間の増加を図る。   |     |
| 学校司書の研修の充実           | 3 4 | 学校司書の研修会を開催し、各校の取り組みの共有化とあわせ、学校司書の資質の向上を図る。   | 指導課 |
| 教職員と学校司書の連携の強化       | 3 5 | 学校の実態に応じて、司書教諭を中心に、教職員と学校司書とが連携して、学校図書館を活用した授業の推進を図るとともに、児童生徒の発達段階に応じた適切な本の紹介を行い、読書活動の活性化を図る。 | 指導課 |
| 学校図書館システムの活用         | 3 6 | 小中学校の蔵書のデータベース化により、効率よく本を提供できるよう、学校間で情報を共有できるシステムの効率的な運用を図る。                                  | 指導課 |
| 「四街道子どもブックリスト」の作成と活用 | 3 7 | 児童生徒の意見を取り入れながら、子どもの読みたい本、子どもに読ませたい本のリストを作成し、活用することで、読書活動の充実を図る。                              | 指導課 |

#### 4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進

子どもが生活のさまざまな場で本と出会い、読書に親しむことができるよう、行政機関がコーディネートし、子どもの読書活動に係る関係機関・家庭・地域の連携・協力を推進していきます。

これまでもボランティアが各学校の読書活動の推進を支えてきましたが、ボランティア間の連携を深め、より一層のボランティア活動の充実を図ります。

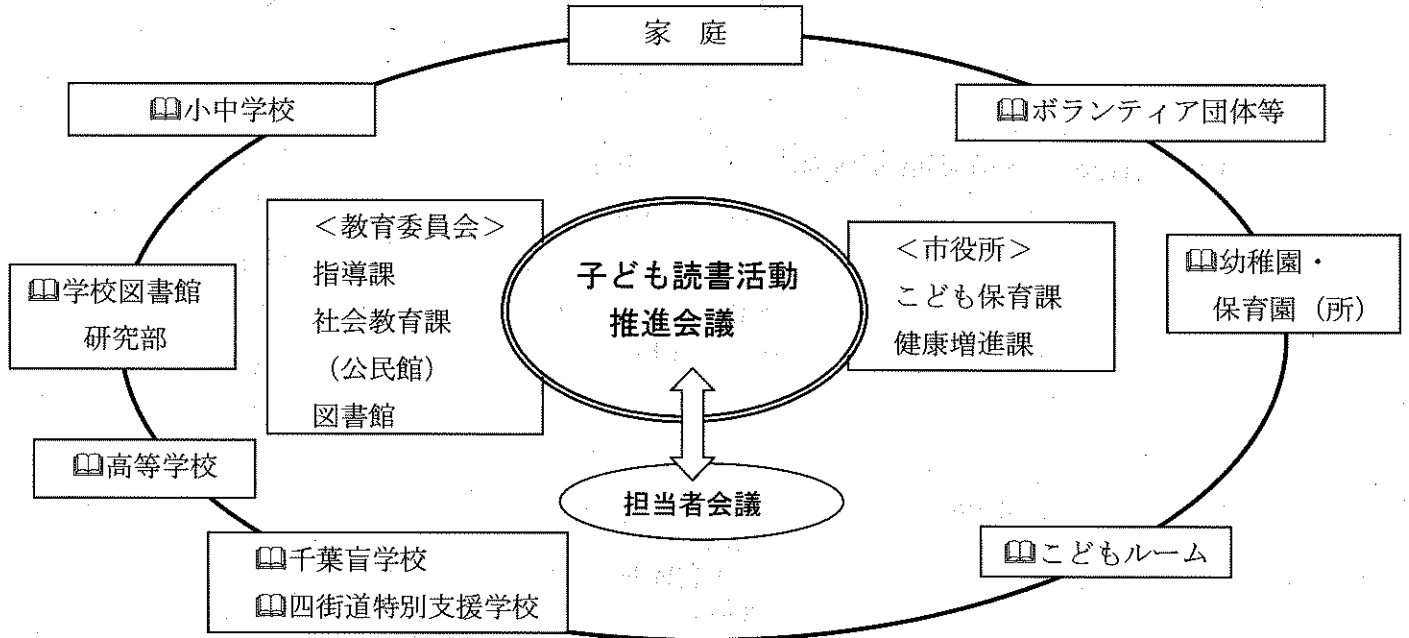
##### 【事業内容】

| 事業項目              | 事業番号 | 事業の内容  | 所管課                                 |
|-------------------|------|--|-------------------------------------|
| 見学の受け入れ           | 3 8  | 子どもたちが図書館に親しむ機会として、可能な範囲で図書館内の見学を受け入れる。                                      | 図書館                                 |
| ボランティアによる支援の充実    | 3 9  | ボランティアの支援により、読書活動の活性化を図る。  | 指導課<br>保育課                          |
| 「子ども読書活動推進連絡会」の開催 | 4 0  | 子どもの読書活動に係る幼稚園・保育園（所）や小中学校、高等学校、特別支援学校と関係機関、ボランティア団体等が、共に研修や情報交換を行う連絡会を開催する。 | 指導課<br>図書館<br>保育課<br>社会教育課<br>健康増進課 |

|                       |     |  |                                     |
|-----------------------|-----|--|-------------------------------------|
| 情報提供の充実               | 4 1 | 子どもの本や読書に関する情報提供を行う。   | 図書館                                 |
|                       | 4 2 | 保健センターに情報掲示コーナーを設置し、お話会の案内や本のリスト等を掲示する。                      | 図書館<br>指導課<br>健康増進課                 |
| 子ども読書活動推進会議及び担当者会議の設置 | 4 3 | 本計画の事業の推進を図るため、事業の進捗状況を確認するとともに、計画全体について継続的に協議し、必要に応じて修正を行う。 | 指導課<br>社会教育課<br>図書館<br>保育課<br>健康増進課 |
| 関係機関の連携               | 4 4 | 関係機関の間で子どもの読書活動に関する相互の情報提供、情報交換を行い、協力して本計画を推進する。             | 図書館<br>指導課<br>社会教育課<br>(公民館)<br>保育課 |

【推進体制図】

主に、下図の関係機関等で連携・協力体制をつくり、取り組みを進めていきます。



※上図☒マークの団体等は、子ども読書活動推進連絡会のメンバー



## 5 目標とする数値

子どもの読書活動の推進状況を把握するために目標とする数値を定めました。

計画期間を令和4年度からおおむね5年としていることから、令和8年度を目標年度とします。

※(2)(3)は、特別な支援を必要とする子どもについては、支援者と共に読んだ本もカウントする。(読み聞かせも含む)

### (1) 図書館・公民館における児童書貸出冊数

令和2年度末 61,884冊 ⇒ 令和8年度末 90,000冊

### (2) 学校図書館における児童生徒一人あたりの貸出冊数

|     | 令和2年度末 | 令和8年度末 |
|-----|--------|--------|
| 小学生 | 39.6冊  | 40冊    |
| 中学生 | 7.1冊   | 10冊    |

### (3) 1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合

|        | 令和2年度末 | 令和8年度末 |
|--------|--------|--------|
| 小学校2年生 | 1.1%   | 1.0%以下 |
| 小学校5年生 | 3.0%   | 2.5%以下 |
| 中学校2年生 | 6.9%   | 6.5%以下 |

### (4) 図書館における団体貸し出し資料の貸出冊数

|        | 令和2年度末  | 令和8年度末  |
|--------|---------|---------|
| 団体貸出冊数 | 10,837冊 | 11,000冊 |

